

平成 30 年北海道胆振東部地震とその災害に関する 総合調査を実施

～文部科学省特別研究促進費の助成が決定～

【概要】

大学院理学研究院の高橋浩晃教授（同研究院附属地震火山研究観測センター長）を研究代表者とするグループは、文部科学省から「平成 30 年北海道胆振東部地震とその災害に関する総合調査」への科学研究費助成事業（特別研究促進費*¹）による助成を受けることが決定しました。

北海道大学では、大学院理学研究院・工学研究院・農学研究院・公共政策学連携研究部が連携し、道内・国内の大学等とも協力して、大規模な災害に至った原因を明らかにする研究を総合的に進めます。研究成果は、2019 年 3 月に予定される報告会などを通じ、広く皆様にお知らせすることで、今後の北海道における地震防災の推進に役立てる予定です。

【研究概要】

- ・ 厚真町で震度 7、札幌市内でも震度 6 弱の強い揺れとなった原因を、地震観測や地盤調査から検討
- ・ 大きな人的被害となった同時多発斜面災害の発生メカニズムを、土質調査や地形解析から調査
- ・ 札幌市等で発生した大規模地盤液状化の原因を、地質・地盤調査や地震の揺れの特徴から調査
- ・ 人や建物の被害の原因や、大規模停電が道内社会経済に与えた影響を明らかにする調査を実施
- ・ 震源近くの主要活断層である石狩低地東縁断層帯と今回の地震の関係を、機動地震観測から調査
- ・ 研究成果は、北海道防災会議地震専門委員会や政府委員会で報告し、今後の地震防災対策に活用

【参画機関】

北海道大学、北海学園大学、室蘭工業大学、北見工業大学、弘前大学、東北大学、東京大学、新潟大学、名古屋大学、岐阜大学、京都大学、香川大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道立総合研究機構（全16機関（54名））

【助成金額】

31,900千円

お問い合わせ先

北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター 教授 高橋浩晃（たかはしひろあき）
T E L 011-706-3212 F A X 011-746-7404 メール hiroaki@sci.hokudai.ac.jp

配信元

北海道大学総務企画部広報課（〒060-0808 札幌市北区北 8 条西 5 丁目）

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール kouhou@jimu.hokudai.ac.jp

【用語解説】

*1 特別研究促進費 … 突発的に発生した災害に関して、緊急に実施しなければならない極めて重要な研究課題に対して交付されるもの。